

えことぴい通信

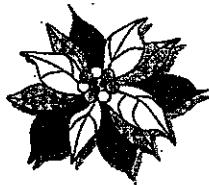
えことぴい長崎 会員情報誌 第15号



講演会やります♪

「これからの日本～未来を変えるのはア・ナ・タ～」

これからの日本は、お金より命が大切。
壊した自然をもとにもどす。
消えそうな動物たちを守る。
競争に追い込んだ子どもたちを、
そのままでよいと受け止める。
いらないものをこれ以上造らず
便利、快適を求めない。
足るを知り、今ある幸せに感謝する。



こんな日本が実現するには、ただ待っていてもいつのことになるのやら…

政権交代した今のチャンスを生かすには

もっともっと仲間を増やして声をあげること…

心の中で思うばかりでなく、手を広げて友だちを増やしませんか？

できる魔法は存在します。

まさかの人にも声をかけて、講演会に一人でも多くの人と参加しませんか？

「これからの日本」講演会実行委員長 牟田 純子



※詳しくは同封のチラシをご覧ください。
チラシやチケットを預かってくださる方は、
ご連絡ください。

『すべての人に未来を造りだす力がある』
このことを多くの人に伝えていき、
美しい地球と平和な世界を
子どもたちに残すために
共に歩んでいきましょう♪

これからの日本

「ワ・タ・シは、未来をこう変える」

上原 義之です。

日本では政権交代が実現し、まずは自民党の長期政権にピリオドを打ったことは、やっと実現した大きな改革だと思います。

事業仕分けのインターネット公開、

これまで密室で行われていた予算編成など、

政治が私たち国民に身近になり、関心も大きくなりました。

そこで、よりよい社会にしていくためには、

私たち一人ひとりができるることをしていくことだと思います。

たとえば、知り得た情報などを周りの人に伝えることや、

講演会に周りの人を誘い、多くの人に伝えること。

また、いろんな署名やパブリックコメントなどを通して、

意見を出し、意思表示をしていくことだと思います。

それもなかなかできないときは、会話の中で話題にし、

自分の意見を述べること、関心を持つことが大切だと思います。

選挙も意思表示の手段として非常に有効だと思います。

前回の選挙まで、政権交代できる雰囲気ではなかったですが、

今回の選挙が、みんながその気になれば実現できることを証明しています。

来年2月は知事選、7月は参議院選があります。

私たちの一人ひとりの力は小さいけれど、

みんなが力を合わせれば、何でもできると思います。

さて、わたしか新政権に望みたいのは、将来を見据えた政策を実施してもらうこと。

たとえば、まずは巨大に膨らみすぎた予算額を減らすこと。

とくに国債を最小限までに減らさないと、将来、莫大な借金で押しつぶされてしまいます。

家計で考えると、収入の範囲で生活を考えるのが基本だと思いますが、

収入を上回る借金を当てにするのはおかしいと思います。

もちろん、私たちも大きな我慢を覚悟する必要があります。

ただ、私たちの生活は、途上国や文明国ではない人たちの、

数10倍から100倍のエネルギー消費の生活をしていることを考えれば、

宇宙船地球号の一員として、当然、大きく生活を変える必要があります。

エネルギーや食料の大消費国でありながら、自給率はとても不安な状況なので、

エネルギー消費の少ない生活や、農業、水産業の復活をし、

将来への不安のない国を望みます。

経済を追い求める政策から、国民の幸せを感じられる政策、

GNP（国民総生産）から、GNH（国民総幸福量）へ

転換していくよう私たちのできることをしていきたいと思います。

一方、アメリカでもオバマ大統領の出現で、

世界は核廃絶へ向けて、大きく変わろうと、一步を踏み出しています。

私たちナガサキとしての役割は大きいと思います。

この機会を契機に、一気に核のない世界、戦争のない世界の実現へ向けて、

いっしょに考えていきたいと思います。

何も難しいことじゃない。
世界が地球温暖化に向けて、危機的状況に向かっている今、
戦争やお金の奪い合いをしている場合じゃないと思います。

単純に素直に思っていることを意思表示し、私たちは、自分の生活スタイルを変え、
周りに伝えていきたいと思います。
まず手始めに畑を借りて、野菜作りを始めたいと思います。



田中 千代です。

「これから日本の日本」について考えた時
私は、一人一人が「出来る魔法」をかけることが
できれば 変わると思います。

一人一人の意識や行動が集まって
今の日本を作っているのではないでどうか。

変える事はできない
何も変わらないとあきらめていては
何も変わらない。

できるかも… やれるかも…
じゃあ どうしたらいいかな？ と
考えることで 良い方向へ変わると思います。、

暦職人・只宵亭雲刻斎ことアカシヤスユキです。

来年の暦もやっとできあがりました。

今回も丸い一枚モノですが、サイズが75センチ角に大きくなりました。

『ぐるぐる暦』(来る来るこよみ)という名前にしました。

絵柄は、えことぴい長崎の仲間でもある野口美砂子さんの作品です。

故郷の五島奈留島の海山自然のイメージで描いていただきました。

明るくて前評判も上々です。

折り目がつかないように筒状に梱包されています。

イラスト付きのやさしい手引書もついてきます。

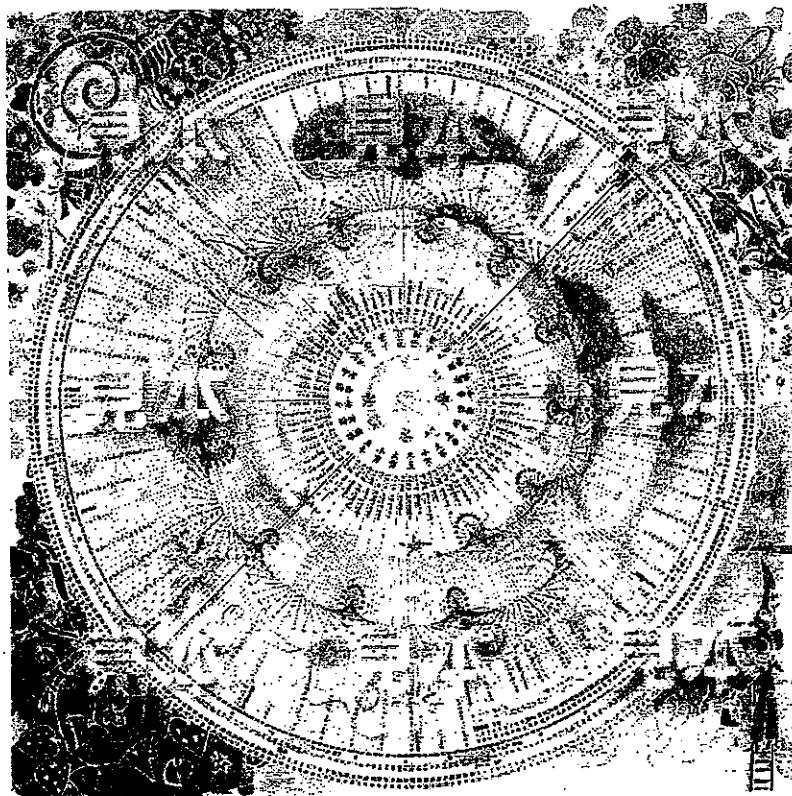
透明ケース入りでプレゼント用にもよかですよ、

12月24日からは布製(綿100%)も発売開始します。

それはさておき、暦に向き合うと高木さんの自然・不自然の違いが見えてきます。
いまの太陽暦（グレゴリオ暦）は、人間の都合で作られている……不自然。
旧暦と呼ばれている太陰太陽暦は、月と太陽の周期の組み合わせで自然に沿った暦。
天体の動きからつくられるので、旧暦の方が実は科学的なのかも知れない。
それを昔の人は、ちゃんとわかって、
自然界の摂理をちゃんと受け止めて生活していたのでしょうか。

石油文明、経済社会の発展で、自然に沿った暮らしから離れ、
実は自滅の道をたどっている。
暦を見直し、時間の成り立ちを見つめ直すことが、
これから日本の道ではないでしょうか。
資源がないと言われますが、実は自然の資源は豊かなわけです。
森があり、川があり、海がある。天然資源の宝庫です。
生きるためにまず大切な、食べ物、住まい、着る物、
実は自給できるベースがこの国には揃っているではないですか。
それを何を迷ったか切り捨ててしまっている。
一次産業に携わっている人たちが生活できない社会っておかしいじゃないですか。
過剰な保護は必要ないと思いますが、政策で一次産業重視に立ち返ったら、
世界をリードする国になると思います。
その一次産業を導く道しるべとして太陰太陽暦が必要になってきます。

暦をつくってきて、確信してます。



講演会のきっかけ

「子どもの未来を幸せにしたいあなたに贈る♪

「ブルサーマルって何？」

「2009年11月玄海原発ブルサーマル試運転開始の計画」のニュースを耳にしながら、今年7月、元慶應義塾大学助教授の藤田祐幸先生の講演会で

ブルサーマルや原子力発電の真実を聴きました。

ショックでした。

原発の事故が怖いだけではないのです。

原発が運転されることで、日雇い労働者が放射能の危険性を知らぬまま、

発電所内で作業中に被曝しています。

毎年、被曝者が増えている現実を知りました。

電気を使っている自分が加害者であることに初めて気づきました。

このことは少数の人だけの知識にとどめるものではなく、

全ての人が知っていてあたりまえのことにしてほしいと思いました。

そこで、9月、10月とブルサーマル計画が中止となることを願いながら

講演会を開きました。

残念ながら、12月2日玄海原発で営業運転が開始されました。

無力感を感じました。

でも、あきらめることはできません。

原子力発電のない世界がみんなの幸せにつながっていると思うので・・・

原発について発言するのは特別な一部の人があることと思っていました。

それは違うことがわかりました。

牟田 純子

来年2月に開催される「第4回核兵器廃絶地球市民集会ナガサキ」の
自主企画として、「ブルサーマルって何？」講演会を開催します。

☆ 日時 2010年2月6日（土）午前10時～12時

☆ 場所 長崎原爆資料館平和学習室

☆ 講師 藤田祐幸氏

映画「東京原発」を観て

役所広司さん主演の映画「東京原発」をご覧になりましたか？
東京都庁の隣に原発を造ろうと知事が言い出したことから、
都の幹部役人たちが賛成反対の議論をしている最中、
極秘裏に核燃料が陸路運搬されるのですが・・・
コメディタッチでありながら、社会的問題を深く考えさせてくれる作品です。
電気があって当たり前の生活
便利快適が当然という毎日
私の暮らしを見直すきっかけになりました。
まだ観ていない方、必見ですよ！！

赤瀬 明子

原発解体

『原発解体』のNHKテレビ放送を、録画ビデオで観ました。

世界中で今までに作った原発は、539基もあるそうですね！
これからも、開発途上国などで、たくさん造りそうです。
寿命がきて解体しても、放射性廃棄物の処分先は、
世界中どこにも見つかっていないというのに・・どうしてそんなに造れるのでしょうか。
未来のこどもたちに、多額の費用をかけて、
危険な維持管理の仕事をさせるつもりなのでしょうか。

ビデオは、初めて観る映像ばかり。
放射性廃棄物が残る配管切断のシーンなどは、緊張感がありました。
作業者は、いくら防護服を着ても、被曝は避けられないのではないでしょうか。
作業者の将来がとても心配です。

原子炉本体は、いくら洗っても、中性子線を長く浴びて”放射化”してしまっているので、
放射線が強くて、ロボットを使って解体するしか方法がない、途方もなく厄介物のようです。

ドイツでは、原発解体には1基1300億円かかりそうだということでした。
日本では、どのくらい費用がかかるのやら・・・
解体する予定の東海村の原子炉は、詳細な図面が不足しているそうですから、
もっと費用がかかることでしょう。

この『原発解体』は、たくさんの方に観てほしいビデオです。
目先のことだけを考えるのは、もう止めてほしい、
未来のこどもたちのことを、もっと考えてほしいと強く思いました。

吉田 政和

雑草が化けた“ワイルド人参”、今が一番の旬

田畠を何年も放置することで草や雑木が生い茂った耕作放棄地。
日本全国で増え続け、専門家は大問題と思っていますが、
逆転の発想をすると宝物だったんです。



放置することで地球の思い通りにいのちが循環して、微生物いっぱいになり、
ミネラルバランスが自然に整ってきています。
ちょっとしたコツで、半年以上時間と労力をかけると、黒々とした最高の畠に変身。

荒れ果てた所から、力ややかずら、竹、雑木を切り倒していくと、
石積みの棚田の跡が表れてきます。

昔、ご先祖様が子どもたちのために毎日毎日石を運んで田んぼを作ってきた苦労が偲ばれ、
それが復元されていく様子を見ると何だかほっとします。

全国各地どこも、山と化した場所で多くの田んぼ跡が眠っていることを想像すると、
それが復元できたらいいなあと思えてきます。
多くの農家が、周りの耕作放棄地を、再びいのちのめぐる畠としてよみがえらせて欲しい。
そのためには、そこで育ったワイルド野菜の価値を全国の心ある市民が知って欲しい。
そして、その価値のわかる方々に買い支えて欲しいと願っています。

今回ご紹介する無農薬無化学肥料の人参は、
耕作放棄地産か、または周りの雑草をふんだんに集めて畠に戻して育てたものです。
どうぞ、大地のパワーにつながったワイルド人参の生命力を、
味と香りで感じて、あなたの体に取り入れて下さい。
自分の健康を守るだけでなく、日本の田畠を守ることにつながっています。
一人の購買行動なんてとても小さな力ですが、一番大切な真の解決策だと思っています。

長崎の仲間が、耕作放棄地または周りの大畳の雑草を注ぎ込んで
ミネラルと微生物いっぱいの土から、農薬も、化学肥料も使わずに、人参を育てました。
生でかじっただけでも、その味や香りの違いをはっきり感じると思います。
すりおろしてもなかなか変色、酸化しません。
細胞の一つ一つがピンピンしているので、煮るとすぐやわらかくなります。

このすごい生命力のワイルドニンジンを、皆様の体につないで欲しいです。
例えば、毎朝ニンジンジュース1杯の健康法がありますが、
このワイルドニンジンなら、最高の抗酸化力が、血液によって体の隅々に運ばれ、
体中の細胞がますます元気になるはずです。どうぞお試し下さい。
キロ単位で注文下さい（1キロあたり350円です）一箱に10キロ～30キロ入ります。
別に送料がかかります。九州内500円、近畿は約700円、関東は約1000円です。

申込は下記へお電話下さい。

だいち村三川内店に0956-30-7120
ベジライフだいち村0956-23-0128

大地といのちの会 吉田俊道

ホームページ <http://www13.ocn.ne.jp/~k.nakao/>

～みんなのミーティングのご案内～

《1月》

M M： 9日（土） 13：30～16：30 県民ボランティア活動支援センター

M M： 20日（水） 18：30～21：30 県民ボランティア活動支援センター

《2月》

M M： 6日（土） 第4回核兵器廃絶地球市民集会ナガサキに参加

M M： 17日（水） 18：30～21：30 県民ボランティア活動支援センター

※県民ボランティア活動支援センター

長崎市出島町2-11 出島交流会館4階 TEL:095-827-4852

メンバーズミーティング（MM）では、仲間と自由に話し合うことで、新たな気付き、さまざまな情報が得られます。

初めての方も大歓迎！！気軽にご参加くださいね。お待ちしています！！

えことびい長崎 http://www.geocities.jp/n_earth_v/index.html

〒850-0946 長崎市川上町15-10 電話・FAX: 095(827) 5149

Eメール: ymaiso@yahoo.co.jp

◎ホームページには“えことびい長崎”的情報が満載！！

みなさんぜひアクセスしてみてくださいね♪

掲示板の書き込みもお待ちしてます！！

